

INPEX Summer Internship 2019 の実施について

弊社では今年度も理系学部・大学院の学生を対象に夏期インターンシップを以下の通り実施致します。参加者の皆様にエネルギー開発企業における技術業務について理解を深めて頂く2週間コース(体験型)と、現場見学を中心とした3日間コース(現場見学会)の2つのインターンシップをご用意致しました。オフィスからプラントまでエネルギー開発の魅力を広く体感する機会ですので、是非、ご応募ください。

参加条件(共通):

- ・理学・工学系の学部・大学院に在籍していること
- ・選択したコースの全日程に参加可能であること
- ・(海外プログラムの場合のみ)パスポートを保有していること

2週間コース(体験型)

実施時期: 2019年8月19日(月)から9月13日(金)までの間の約2週間

実施場所: 本社、国内事業所または海外事務所(プログラム別に実施)

実習内容: 石油・天然ガスの探鉱・開発・生産・HSEに関する技術系業務の実習。
(国内プログラムには、「技術研究所ラボツアー・現場見学」を含みます。)

募集人数: 全プログラム合計で30名程度

選考方法: 応募者多数の場合はエントリーシート、面談により選考します。

処遇: 報酬なし。

- ・ 交通費補助: 弊社基準に該当する遠方参加者のみ、現住所からの往復国内交通費の一部を弊社基準により支給します。
- ・ 宿泊費: 弊社基準に該当する遠方参加者のみ、弊社にて手配・費用を負担します。
- ・ 海外渡航費: 海外プログラムの場合、弊社で手配・費用を負担します。
- ・ 保険: 傷害保険・賠償責任保険を参加者ご自身で手配頂きます(保険料は自己負担となります)。
- ・ その他特記事項: 実習期間中の食費・生活費は参加者のご負担となります。
(詳細は実施要項をご参照ください)

3日間コース(現場見学会)

実施時期: 2019年9月9日(月)から9月11日(水)

実施場所: 本社、技術研究所、直江津 LNG 基地、南長岡ガス田越路原プラント

実習内容: 石油・天然ガス開発の流れに関する講義、
技術研究所ラボツアー、現場見学

募集人数: 20名程度。

選考方法: 応募者多数の場合はエントリーシート、面談により選考します。

処遇: 報酬なし。

- ・ 交通費補助: 弊社基準に該当する遠方参加者のみ、現住所からの往復国内交通費の一部を弊社基準により支給します。
- ・ 宿泊費: 弊社基準に該当する遠方参加者のみ、弊社にて手配・費用を負担します。
- ・ 保険: 傷害保険・賠償責任保険を参加者ご自身で手配頂きます(保険料は自己負担となります)。

- ・ その他特記事項:実習期間中の食費・生活費は参加者のご負担となります。
(詳細は実施要項をご参照ください)

応募について

申し込み方法:参加ご希望の方は以下アドレスまで、
件名を“INPEXインターンシップ2019_氏名”としてご連絡下さい。
エントリーシートを送付させていただきます。
申込先 internship.tec@inpex.co.jp
申込期限 **2019年6月14日(金)**

問い合わせ先:国際石油開発帝石株式会社 技術基盤ユニット
〒107-6332 東京都港区赤坂五丁目3番1号 赤坂 Biz タワー
TEL : 03-5572-0261 FAX : 03-5572-0269
Email: internship.tec@inpex.co.jp

INPEX Summer Internship 2019
2 週間コース（体験型）実施要項

◎ 実施時期、開催場所

下表プログラム一覧をご参照ください。

2 週間コースプログラム一覧

技術分野	日程	プログラム 場所(受入先)	実習内容(例)
ジオサイエ ンス	A: 8/19～8/30	国内(本社)	坑井データレビュー、地層評価、地震探査 データ解釈、埋蔵量評価など
	B: 9/2～9/13	国内(本社)	
	C: 8/23～9/8	海外(ヒューストン)	
サブサーフ ェスエンジ ニアリング	A: 8/19～8/30	国内(本社・新潟・直江津)	掘削デザイン検討、生産挙動解析、 レザバーシミュレーション、プロセス計算、 生産施設設計など
	B: 9/2～9/13	国内(本社・新潟・直江津)	
サーフェス エンジニア リ ン グ /HSE	A: 8/19～8/30	国内(本社・新潟・直江津)	プロセス計算、生産施設設計、プロセスセ ーフティ、環境管理、セキュリティ・危機管 理、労働安全衛生など
	B: 9/2～9/13	国内(本社・新潟・直江津)	

◎ 各分野に関連する主な専門分野

ジオサイエンス(地質、物理探査)

地質学・古生物学・層序学・堆積学・構造地質学・岩石学・鉱物学・地化学・
物理探査工学・地球物理学など。

サブサーフェスエンジニアリング(掘削、油層、生産)

資源工学・石油工学・岩盤工学・機械工学・油層工学・電気工学・土木工学・化学工学など

サーフェスエンジニアリング/HSE(施設、HSE)

機械工学・油層工学・電気工学・土木工学・化学工学・環境工学・安全工学など

◎ プログラム内容

国内プログラム

- 「3 日間コース(現場見学会)」の内容を含みます。
- 全ての国内プログラムの実習初日の集合は赤坂本社となります。解散場所は各受入先となります。

海外プログラム

- 実習初日の集合は赤坂本社となり、ガイダンスを受講して頂きます(海外への渡航日前日)。
- 渡航先での生活費は参加者のご負担になり5万円程度が見込まれます。
- 実習には英語での自己紹介、学習、発表、議論等が含まれますが、英語で日常生活におけるコミュニケーションに不自由がなく、研究内容の説明や議論ができる程度の語学力があれば問題ありません。

国内プログラム実習内容(案)

日付	実習内容(受入先:本社・新潟・直江津)
1 日目	赤坂本社 9:20 集合予定 ガイダンス。各部署プロジェクト・業務紹介 本社社員クラブにて歓迎会
2～4 日目	技術研究所および長岡・直江津現場見学 (現場見学会スケジュール参照)
5～10 日目	各部署にて業務体験 (土日は休日です)
11 日目	午前: 報告会準備 午後: 報告会
12 日目	午後: 報告書作成 午後: 片づけ、フィードバック。 17:25 解散予定

海外プログラム実習内容(案)

日付	実習内容
1 日目	赤坂本社 14:30 集合予定 ガイダンス 本社社員クラブにて歓迎会
2～3 日目	移動(東京⇒ヒューストン)
4～15 日目	各事務所にて業務体験 (土日は休日です)
16～17 日目	移動(ヒューストン⇒東京) 解散

◎ 一つの部署に1～2名のインターン生が所属する就業体験となります。また業務上の都合等により実習内容や期間が一部変更になる場合がありますのでご了承ください。

◎ 参加が確定した後のキャンセルにより発生した費用は、ご本人の負担となりますのでご了承ください。参加確定は7月上旬を予定しています。

INPEX Summer Internship 2019
3日間コース（現場見学会）実施要項

◎ 実施時期

2019年9月9日(月)から9月11日(水)までの3日間（全1回）

◎ 宿泊

2日目のホテル(朝食込)は弊社で手配・費用を負担致します。

◎ 見学内容(案)

初日は当社技術研究所(東京都世田谷区北烏山 9-23-30)に集合、
最終日は長岡駅で解散となります。

3日間コース内容（案）

日程	内容	
1日目 本社・技術 研究所	午前	技術研究所 9:30 集合予定 ガイダンス、石油開発業務紹介
	午後	技術研究所ラボツアー 本社にて懇親会を開催
2日目 直江津 LNG 基地見学	午前	移動（東京⇒上越妙高駅）
	午後	直江津 LNG 基地・INPEX Museum など 長岡へ移動、ホテルチェックイン
3日目 長岡鉱場 見学	午前	越路原プラント・発電所見学・坑井基地
	午後	親沢プラント・天然ガス地下貯蔵プラント見学 長岡駅解散 16:30 解散予定



直江津 LNG



越路原プラント(新潟県長岡市)

INPEX Summer Internship2018 体験記

- ①自己紹介 ②インターンシップに参加した理由、きっかけ ③参加に向けて準備した事
④インターンシップで体験した内容 ⑤インターンシップで得たものや成長出来た点 ⑥後輩へのアドバイス

2週間コース(体験型)、ジオサイエンス、国内(本社)

- ①大学では構造地質学を学んでいます。趣味はランニング、ミステリー小説鑑賞など、アウトドアなものからインドアなものまで様々です。
- ②自身の専門を活かすことのできる業界として、どのような業務を行なっているか、どのような人が働いているかを知るため、業界最大手であるINPEXのインターンシップに参加してみようと思い、参加を決意しました。
- ③参加に際しては、特に準備は行いませんでした。付け焼き刃な知識をつけて参加するよりも、インターンシップにおいて実際に経験を積むことで、最大限の知識を吸収しようという心持ちで参加をしました。
- ④地質技術者の方に付きっきりになって頂いて、震探解釈や物理検層解析などの専門的な業務を体験しました。特に、実際に掘削が行われているプロジェクトの状況説明を部署全体の方達にすることが印象的でした。
- ⑤石油開発に関する知識を最大限に吸収することができました。また業務の一旦を担った経験によって、石油開発の責任の重さ、社会人として働くことの大変さを身に沁みて学ぶ事が出来ました。
- ⑥INPEXのインターンシップでは、一から丁寧に石油開発に関する知識、経験を積む事が出来ます。多くのことを学べるからこそ、初学者の立場に戻って、全てを吸収する心持ちで頑張ってください！

2週間コース(体験型)、サブサーフェスエンジニアリング、海外

- ①大学では石油工学を専攻しています。研究では非在来型天然ガスのコールベッドメタンの貯留層シミュレータの開発を行っています。趣味は海外旅行が好きで、学生中は20カ国ほど旅行をしました。
- ②石油開発業界に興味があり、インターンシップは石油開発技術者の姿を拝見できる貴重な機会だと感じたため参加しました。海外赴任についても学びたく、国内ではなくヒューストンのプログラムを選択しました。
- ③海外でのインターンシップだったので、英語の自己紹介プレゼンの資料作成と発表の練習をしました。また、自分自身のインターンシップ参加目的を再確認しました。目的を意識することで、貴重な機会から最大限に学ぶことができました。
- ④坑井圧力解析やNodal Analysisなど数式を用いた作業や、無数のデータから有望なシェールガス田の地域を割り出すAOIスクリーニングなどを学習しました。その他にもガルフベトンへ訪れ、リグ博物館やサブシー装置の見学をしました。
- ⑤海外で活躍される技術者の方に指導して頂き、物事への理解の深さや、石油開発への技術者としての気概を肌で感じました。そして、私が目標としていきたい技術者像を獲得することができました。
- ⑥INPEXのインターンシップでは、業務に近いことを体験させて頂けるので、石油開発業界で技術者として働くイメージを詳細に掴むことができると思います。大学生活の中でも最も濃い2週間になること間違いなしです！

2週間コース(体験型)、サーフェスエンジニアリング/HSE、国内(本社)

- ①専攻は土木工学で、液化地盤で高速道路を支える杭基礎について研究しています。写真撮影と旅行、乗り物全般が好きで、上海からカスピ海まで飛行機を使わずに巡るなど、冒険的な旅もしていました。
- ②海外勤務やプラント関係の業界に興味を持ったことがきっかけで、発注者側のINPEXについて知りたいと考えました。特に、土木系エンジニアが具体的にどのような仕事をするのか体験したいと思い参加しました。
- ③ホームページを見て、事業が行われている場所や職種別の仕事などを大まかに調べました。杭基礎に関する実習内容だと事前に伺ったので、手持ちの簡単な教科書に目を通しました。
- ④直江津基地の棧橋に、既存のタンカーとは異なる種類の船を接岸させる場合、どの程度の大きさの船を運用できるか、また大きな船を接岸させる際に必要な港湾設備の改修について検討しました。
- ⑤エンジニアリング会社の業務内容との具体的な違いや、職場や社員の方の雰囲気がよくわかりました。成果発表では、異なる専門の方を対象として、簡単に分かりやすく説明することの重要性を実感しました。
- ⑥インターンシップに参加することで、社風や仕事の具体的なイメージを掴むことができました。実際の職場で社員の方と一緒に過ごし、業務を体験する機会は、その後の就職活動でも指針になると思います。



INPEX Summer Internship2018 体験記

- ①自己紹介 ②インターンシップに参加した理由、きっかけ ③参加に向けて準備した事
④インターンシップで体験した内容 ⑤インターンシップで得たものや成長出来た点 ⑥後輩へのアドバイス

3日間コース(現場見学会)

- ①私は物理探査を専攻しており、地震データを用いて地下の構造を推定する研究を行なっています。趣味はスポーツ鑑賞や読書、映画鑑賞です。
- ②修士1年の春に漠然と就職先を考えていたところ、研究室の指導教官からINPEXを教示していただき、参加申し込みをしました。
- ③同業他社のインターンシップに参加していたため、基本的な業務内容や業界については理解していました。しかし、INPEXと他社の相違については無知であったため、あらかじめINPEXの強みや基本情報等を調べました。
- ④3日間のインターンシップでは、本社にてINPEXの会社概要や業務内容等の講義、新潟県直江津LNGプラント等の見学を行いました。
- ⑤INPEXという企業、業務内容等について大いに理解することができました。また、様々な経験を通じて、「INPEXに入社したい」と思えたことがインターンシップで得た最たるものだと思います。
- ⑥インターンシップは正に「百聞は一見にしかず」です。ネットの情報及び伝聞だけでは得ることができない情報を得ることができます。非常に貴重な機会だと思うので、ご参加をオススメします！

2週間コース(体験型)、サブサーフェスエンジニアリング、国内(新潟)

- ①私は、大学院で石油工学を専攻し、石油工学の中でも油層工学を中心に勉強しています。趣味は、スポーツ観賞、音楽鑑賞、コーヒーを飲むこと、靴磨きをすることです。
- ②大学の油層工学の授業で石油開発に興味を持ったことから、日本の石油業界で重要な地位を占めているINPEXで業務を体験したいと思いました。そのため、体験型インターンシップに参加しました。
- ③予備知識を持って臨んだ方が、より多くの事を学べると思ったため、以下の準備をしました。
- ・ 石油開発の流れをインターネットで確認
 - ・ INPEXの事業内容をインターネットで確認
 - ・ 大学の石油工学の授業を復習
- ④初めに技術研究所やオイルターミナル、プラントなどの見学をしました。その後、国内E&P事業本部生産ユニットで、地上のパイプの工事の経済性評価の課題に取り組み、石油開発業務の一端を体験しました。
- ⑤施設の見学時その規模の大きさに圧倒され、大学での座学からは想像できない石油開発の壮大さを実感しました。また、石油業界を志す多くの学生と知り合うことができ、就職活動中に支えあう仲間を得ました。
- ⑥私は、今まで味わわなかった石油開発の魅力をインターンシップで体感し、石油業界に就職すると決意しました。普段の大学生活では得られない貴重な体験や良い仲間との出会いがあるので、是非参加してみてください。



2週間コース(体験型)、ジオサイエンス、海外

- ① 青森出身の田舎者です。大学では地質学(特に堆積学)を専攻しており、野外踏査を行いながら地層の形成過程を研究しています。趣味は空手、釣り、野球観戦、ウィンタースポーツ全般です。
- ② 石油開発業界で地質・物理探査技術者が担う業務を体験してみたかったからです。特にINPEXの海外インターンシップは、海外の技術者と議論しながら石油開発の知見を広げられる貴重な機会だったため、参加を志望しました。
- ③ 自身の研究内容を英語で説明するための準備をしました。海外インターンシップ初日に、研究内容を英語でプレゼンテーションする機会があります。私は海外での学会経験等が無かったため、人一倍入念に準備しました。
- ④ 石油開発に関する様々な講義を日本語や英語で受講したり、坑井データ対比やボーリングコア記載実習等を体験しました。最終日には成果報告を英語で発表しました。休日にもパース周辺を観光したりと、充実していました。
- ⑤ 自身の専門分野が石油開発にどのような形で活かしているのかを、具体的に把握できました。この業界に身を投じる上で、大学の研究活動でこういった能力を伸ばしていけば良いのかが見えてきた点は大きかったと思います。
- ⑦ インターンシップは、石油開発やINPEXに関する広く深い知見を身に付けられる絶好の機会です。そこで学んだこと・感じたことを企業選択の糧にし、皆さんにとって悔いの残らない就職活動となることを祈っています。

